



ゲームの通貨単位は「1ジェンコ、2ジェンコ」。勝敗の決め手は交渉力

## ボードの上で秋田をぐるり

### 秋田版モノポリーを制作・販売 千葉尚志<sup>ひさし</sup>さん

モノポリーは、すごろくのように盤上を回りながら、止まった場所の不動産を取り引きしたり、通行料をもらったりして自分の資産を増やしていく、アメリカ発祥のゲームです。

千葉さんが制作した「秋田版モノポリー」は、止まる場所が県内の市町村になっています。「秋田市」には竿燈、「男鹿市」には入道崎と、各地のイラストが描かれ、ゲームをしながら県内観光を楽しむこともできます。

千葉さんの本業はホームページ制作。また、ウェブ上で秋田の出来事を紹介する「秋田経済新聞」を発行するなど、秋田の情報を全国発信することに力を注いでいます。

「今はデジタルの時代。でもアナログな何かを作りたかった。それも秋田独自のものを全国に広げられたら」という思いでゲーム制作が始まりました。完成までには苦労もありましたが、秋田犬をかたどったコマや秋田杉のパーツを使うなど、純秋田産のゲームに仕上がりました。県外のかたにも、とても好評だそうですね。

千葉さんは「自分が興味あることを続けているだけ。でもそれを実行しようとする気持ち、そして実行できる環境が大事だと思います。そんな環境や機会が増えたら、秋田は今よりもっと元気になるんじゃないでしょうか」と話してくれました。

## 秋田で粋な川遊び

### 雄物川を屋形船で楽しむ 秋田悠久ライン



屋形船「清流1号」と船長の嵯峨清悦さん(左)、加藤正則さん

雄物川の雄大な流れを、ゆったり進む屋形船。平成19年12月8日、新屋の秋田大橋から雄和のダリア園まで約16キロを遊覧する「秋田悠久ライン」が就航しました。

運営するのは「雄物川船舶観光協議会」。茨島にある立建工業(株)の加藤正則社長が、「山形県の最上川など、屋形船が観光の核になっているところが多いのに、雄物川にないのが不思議で、もったいない」と、商工会や地元企業に声をかけ、8月に設立しました。

屋形船は定員50人で予約制。料金は、昼は片道2千円(中学生千500円、小学生以下千円)、往復3千円(中学生2千250円、小学生以下千500円)。夜は食事と飲み物代込みで3千円〜6千円(2時間30分)。「持ち込み自由なので、ガッツコを食べながらのんびりおしゃべりなんてどうでしょう。星空を眺めながら一杯、というのも趣ありますよ」と、加藤さんオススメの楽しみ方を教えてくれました。「屋形船単独でなく、雄和の農業体験など、ほかの観光資源との相乗効果で秋田の観光を盛り上げたいですね」。

問い合わせ：秋田悠久ライン

tel(824)2777



この日は5人の「女優さん」たちが演出会議

## 笑いとお涙…。 わたしたちにお任せあれ！

家族の絆をテーマに演劇活動

### ◆河辺わさび座のみなさん

河辺わさび座の初舞台は平成13年。「ほけ」「健康」「家族の絆」など、身近な話題をテーマにコミセンや公民館などで公演を重ねてきました。

団員は現在9人。練習は月2回ほど、おもに河辺公民館で行います。夕食を終えた午後7時、手料理やお菓子を持ち寄り、まずは演出会議。が、話は世間話に始まり、いつの間にか井戸端会議で終わってしまうこともしばしばです。「こうしてみんなで話をするのが楽しくてしようがないんです」と座長の石塚小枝子さん。この「会議」が功を奏してか、「団員の絆も年ごとに深まっている」そうです。

観客の反応がダイレクトに伝わる舞台での演技。役になりきり、感情を入れたいと思いは伝わりません。「きれいごとでなく、中途半端でなく、そして何より見た人が元気になってくれる演技」がわさび座のモットー。劇を楽しむに待っていてくれる人たちを思い、演技の研究にも熱が入ります。

地域の応援を背に、河辺わさび座はこれからも感動を追い求め続けます。

## 小さな寄付が驚きの企画に！

### “わらしべ貯金”をまちに還元◆武内伸文さん

「わらしべ貯金箱」とは、不用品を持ち寄り、その品物が必要な人にあげて、もらった人から寄付をしてもらう一種のチャリティーフリーマーケットです。集まった貯金で社会活動を行います。

平成19年5月にわらしべ貯金箱を始めたSING代表の武内さん。目的の一つに、物“そのもの”ではなく、物の“値段”にとらわれがちな世間の考え方を変えていきたいという思いがあります。そのためフリマでは品物の値段を設定せず、購入者自身が値段を決めて、思い

思いの金額を寄付します。

この12月でみんなの小さなわらしべは、総額約60万円にもなりました。社会活動第一弾の目標は、ペロ(自転車型)タクシーを購入し市内を走らせること。国体期間中には試験運行をしてみました。

「集まったお金を目に見える形で還元していくことが大切。ペロタクシーを見て、「私が寄付した100円だ！」と実感できるとうれしいですよ。今年も遊び感覚たつぶりの企画で、みなさんを驚かせたいです！」と話してくれました。



次回のわらしべ貯金箱…2月6日(水)から10日(日)までの午前10時～午後7時、大町の秋田ニューシティで開催。詳しくは武内さんへ。tel090-2363-0398